

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員10名に対し、指導訓練室の合計29.82㎡
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者・管理者・保育士・児童指導員・不登校アドバイザー等在籍
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	教室入口の階段がバリアフリー化されているとは言えない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎週月曜日の支援会議にて、振り返りと目標設定を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		本年度より実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		集計後、HPにて公表する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価をして頂ける他事業所を早急に探し、評価を頂く。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修に参加した職員による社内研修を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員間で児の課題を話し合った上で、児発管が案を作成し、6ヶ月に一回サービス計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			支援状況や生育歴を保護者に聞き取りをして、アセスメントをしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			利用者の状況や特性に応じたプログラムを職員全員で立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日カリキュラムにコメントを残すなど、それを反映させたプログラムをその都度用意している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・休日・長期休暇それぞれで療育に活かせる活動を考え支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			特性に応じてアプローチの方法を変えて計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の会議にて、支援の内容、役割分担、送迎について確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、カリキュラムの評価や気になった点、成長した点を話し合い、次の支援につなげている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			児の様子やカリキュラムについて記録を残し、支援の改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に一回必ずモニタリングを行い、保護者と面談をし、計画の見直しを徹底している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			地域交流の機会の提供を増やし、子どもの社会経験の幅をさらに広げたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、状況を1番理解している者、ふさわしい者が参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			市のHPの確認や学校からのお便りを確認し、適宜調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在利用者なし。今後受け入れる場合は看護師等の配置や連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		切れ目のない支援を行うために、より一層情報共有に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在移行する利用者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			福岡市社会福祉事業団が広報しているセミナーや研修に積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後交流や機会を設けるよう努める。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会等へ積極的に参加し、支援について学んでいる。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡ノート、または必要に応じ、事業所にて保護者と面談等の機会を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者からの相談、またはこちらからの発信に対し、一緒に支援方法を考え、同じ方向性で実践を行う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			読み合わせやパワーポイント等を使用し、視覚化した伝え方を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			真摯に受け止め、保護者に寄り添って助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母会、保護者会等の開催を企画中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情については対応の体制を整備している。また、苦情があった場合は、すみやかに対応し、改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月企画したイベントや活動の様子を載せたお便りを出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			モラルを守り、書類については鍵のかかる場所に保管している。また、使用に関しては細心の注意を払うようにして
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			感情カードや、連絡ノート等の使用により配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	見学は随時行っている。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			6月、10月、2月の年3回訓練を行っている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを随時読み合わせている。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書にも掲載し、児発管は日頃から意識して計画を作成している。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者にどの程度配慮が必要かアセスメントを行った上で医師の指示書を提出して頂く。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し、原因と対策に早急に努める。